

令和6年度 財団事業参加者の意識調査及び財団事業の 効果検証について 報告書 概要

令和7年1月30日
公益財団法人
群馬県長寿社会づくり財団

令和5年度の財団事業参加者500人を対象に「財団事業参加者の意識調査及び財団事業の効果検証」についてアンケートを実施しました。

■ 調査の目的

講座に参加したことでの自身の意識の変化、講座で得た知識の活用などについてアンケートを行い、講座で参加したことでも得られるシニア世代の健康や生きがいをもたらす社会参加の効果について明らかにし、社会参加の促進を図る。

■ 調査対象

令和5年度市町村等との連携による「人づくり」事業で行っている各講座参加者のうち60歳以上のスマートフォン所有者500人

■ 調査内容

- ア 性別
- イ 年齢
- ウ 参加した事業について
- エ 講座に参加したことでの自身の意識や行動の変化
- オ 講座で得た知識や経験の活用方法
- カ 社会参加活動に参加しているか
- キ 財団に期待する事業内容（参加してみたい講座）（記述式）

■ 調査方法 Googleフォームで回答

■ 有効回答数 117人（回収率23.4%）

■ 主な調査結果（要旨）

① 講座に参加したことでの意識や行動の変化

「自身の知識や見聞が深まった」 **69.2%**

「自身が社会や地域と繋がっていることを
感じることが出来た」 **26.5%**

② 講座で得た知識の活用方法

「家族や知人友人に教えた」 **47.0%**

「参加しているサークルやボランティア活動で活用した」 **43.6%**

③ 社会参加活動に参加しているか

「健康・スポーツ」 **44.4%**

「地域行事」 **35.9%**

回答者の約7割は講座に参加したこと、自身の知識や見聞が深まったと回答。

回答者の約4割は講座で得た知識を家族や知人友人などまわりの人に教えたり、サークルやボランティア活動で活用している。

回答者の約4割は健康・スポーツや地域行事などの社会参加活動に参加している。

※ 報告書の詳細については、群馬県長寿社会づくり財団ホームページをご覧ください。

<http://www.gunma-long.or.jp/>